

# 自己評価結果公表シート(令和4年度)

鮎川幼稚園

## 1、本園の教育目標

薄着により心身ともに健康なこども  
自ら考え正しく判断することも  
豊かな情感を持ち、人に思いやりのあるこども

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

コロナ禍における行事の簡素化、表現活動の抑制、身体的ストレスなどの発散的保育の工夫。  
日常保育の中で、非認知能力を培う保育内容を検討する。  
家庭や社会の簡単な出来事を友達の前で話す経験を通して表現の能力を養う。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保健面の感染症対策として、子どもの健康観察に配慮し、衛生管理の徹底	子どもの朝の検温、マスク、手洗い、子どもの同士の間隔をあける、大声の禁止などを徹底し、子どもたちに感染予防の意識を高めるよう心がけた。
環境面の感染症対策として、衛生管理の充実	保育室の換気・適時のドアの開閉・空気清浄機の設置など衛生面の徹底を心がけた。 石鹸による手洗い、アルコールの設置などを通して感染予防の充実を図った。
家庭や社会の簡単な出来事を、人の前で話すことを通して表現能力を育成する	帰りの会などで、一日の楽しかったことやおもしろかったこと、いやだったことなどを話すことにより、友達みんなと物事を共有し、考えることの楽しさを味わう心が芽生えてきた。
立つ、座る、歩くなどの姿勢を正しく指導する	姿勢の正しさは心の現われでもあり、子どもたちには顔をあげること、背筋をのばすこと、座る際には腰骨を立てることの大切さを指導している。 しかし、こども自らが姿勢の大切さを理解するところまで到達はできていない。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

感染症対策において、マスク着用、子ども同士の間隔をあける、大声の禁止等、徹底させることができた。コロナにおいてマスク否定派もごく少数おられ、園の対応として保護者の意識を把握するためアンケート調査をした。結果、大半の保護者がマスクの着用については園の判断に委ねるという回答を得られた。体育活動時は、マスクをはずすよう促しても絶対にはずさない子もあり、家庭によりマスク着用の意識の差が明らかになった。

今年度も学級閉鎖はあったが、感染拡大による休園は避けられたことは幸いであった。

保護者のご理解を得て、各行事も中止することなく感染拡大させないよう実施できた。

#### 5、今後取り組むべき課題

各保育者一人ひとりが、保育活動に対して多面的に創意工夫し、子ども自らも積極的に取り組みつつ、保育者と子どもがともに喜びを味わえる保育活動を考案する。

保護者からの意見や要望に対して、保育者として責任ある返答ができるよう常日頃から物事の道理を考え自分なりに正しい認識をもつことを心がけていく。

特に、クレームの多い保護者に対しては、謙虚に話を聞き、保護者に対応できるように職員間で話し合いを持ち共通見解を共有しておく。

#### 6、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されているものと認められている。